

## 藤沢市、歴史と公民の採択、現場の意向を尊重！

新学習指導要領の実施に伴い、中学校の教科書採択が7月～8月に行われました。  
採択された出版社は、次の通りです。

市町村	採択日	国語		社会				数学	理科	音楽		美術	保健	技術・家庭		英語	道徳
		国語	書写	地理	歴史	公民	地図	数学	理科	一般	器楽			技術	家庭		
鎌倉	8月5日	光村	光村	帝国	東書	帝国	帝国	東書	学図	教芸	教芸	日文	東書	東書	東書	光村	東書
藤沢	7月31日	光村	光村	帝国	東書	東書	帝国	東書	大日本	教芸	教芸	日文	大修館	東書	東書	三省堂	光村
茅ヶ崎	7月31日	光村	光村	東書	東書	東書	帝国	東書	大日本	教芸	教芸	光村	学研	東書	東書	東書	東書
寒川	7月31日	光村	光村	帝国	帝国	日文	帝国	教出	啓林館	教芸	教芸	光村	東書	教図	教図	光村	東書

※網掛けが変更になった教科です。

2011、2015年、藤沢市の社会科、歴史・公民分野において現場教員がほとんど支持しない育鵬社の教科書が採択されました。この間、湘南教組は「現場教職員の意向を尊重」するように署名活動や教育委員会への申し入れを行ってきました。2017年の小学校道徳の採択以降、採択の過程の諸資料の仕方が変わり、資料の可視化がすすみました。また、採択の場でも現場の意向を尊重する丁寧な議論が重ねられるようになりました。

7月31日、藤沢市の教科書採択を行う教育委員会臨時会でも、冒頭に岩本教育長から「実際に教科書を用いて授業を行う先生方の貴重な意見ですので、大切な資料として参考にさせていただきます。」という言葉がありました。今回の採択では、歴史・公民分野において現場の評価が低い育鵬社を推薦する委員は一人もいなく、不採択となりました。また藤沢市と同様な経緯のある横浜市においても育鵬社が不採択になりました。

今回の採択において、現場の意向が尊重されたものとなったのは、「神奈川県教科書・採択問題にとりくむ会」、「藤沢の教科書・採択問題にとりくむ会」などの市民運動と連携したとりくみと、組合員の皆さんが、コロナ禍の多忙な中、積極的に調査書にとりくんだ成果です。

今年大きな成果があったからこそ、忘れてはいけないことがあります。政治的中立を維持すべき教育委員会でしたが、2011、2015年の採択においては現場の意向を無視した採択が行われたことです。そうならないためには教職員と市民の声が必要です。藤沢市の採択の場の傍聴席は75名が定員でしたが、2倍の希望者が集まりました。鎌倉市なども同様に傍聴席があふれ、別室でのモニター傍聴になるなど、市民の目があるからこそ、採択制度の透明性が高まってきたことが分かりました。

もちろん、現場の教職員の意向が尊重された採択が行われることがゴールではありません。現場が望む教科書が使えるようになったからこそ、その教科書を日々の授業に生かすため、私たち教員は学び続けていく必要があります。そして、今後も現場が望む教科書を使うために、組合員、市民と一体になって教科書採択制度へのとりくみを継続していくことが重要です。



## 鎌倉市教委との全体交渉

8月6日、鎌倉市教育委員会と「2021年度教育施策・予算要求全体交渉」を行いました。

執行部の総括質疑としては①湘南教組との事前協議及び協力体制の確立について②鎌倉市教育委員会の2021年度重点施策について③教職員の働き方改革・多忙解消に向けての具体的な対応について④今後すすめられる教育施策についての4点を要求しました。

働き方改革・多忙解消については、教育委員会としても業務改善に向けたとりくみ、人的配置による支援のとりくみ、学校職場環境改善プランの推進のためのとりくみ、快適に過ごせる環境整備に向けたとりくみなどを進めていく予定であるという回答がありました。

今後すすめられる教育施策については、GIGAスクール構想やコミュニティスクールが鎌倉市第4期基本計画の重点施策としてあげられています。これらの新たな教育施策が、子どもたちのためになるには現場教職員が理解し、学校が一体となつてとりくむことが必要不可欠です。実施に向けては、検討委員会の中での協議や現場の要望、研修等に努めることを要求しました。

子どもの豊かな学びを保障し、教職員の主体性、創造性ある教育活動が展開されるよう、今後も分会員、執行部が一丸となつてとりくむことが重要です。



## 藤沢市教委との全体交渉

8月5日、藤沢市教育委員会と「教育施策・予算に関する全体交渉」を行いました。

執行部から①教職員の健康確保、快適な職場環境の実現、②教職員の多忙解消、③インクルーシブ教育に向けた条件整備、④臨時的任用・非常勤・再任用教職員及び市費講師の勤務条件の周知などについて要求しました。

市教育委員会からは次のような回答がありました。

- ・児童生徒へ1人1台端末の整備も完了することから、ICT支援員の派遣回数の増加を検討。ネットワーク負荷増に伴う、改善も考えていく。
- ・小学校における児童支援担教諭にかかる市費講師、藤沢市独自に加配した小学校英語専科の市費講師について、配置人数の維持・継続に努める。
- ・代替者の確保についての課題は、本市だけではなく、全国的にも課題となっている代替者の確保のため、随時の募集を行うとともに、近隣の市町とも連携を図って人材の確保に努める。
- ・教職員の働き方改革において、引き続き、業務改善に向けたとりくみをすすめる。



## 湘南教組 当面の活動予定

日程	予定	開始時刻	場所	対象
9月 8日(火)	地域協議会(鎌倉)	16:00	鎌倉芸術館	分会長
9月 9日(水)	地域協議会(藤沢)	16:15	湘南教育会館	分会長
9月10日(木)	地域協議会(茅ヶ崎・寒川)	16:30	湘南教育会館	分会長